

「柏崎の橋」

46 芋川中の橋

二級河川上条芋川は、久米方面の上流から芋川地区を貫流して、古町地区で鶴川に合流するが、上流から下流にかけて、芋川三の橋、小田山橋、芋川中の橋（「芋川二の橋」とも呼ばれる）、芋川一の橋の4つの橋が架かる。

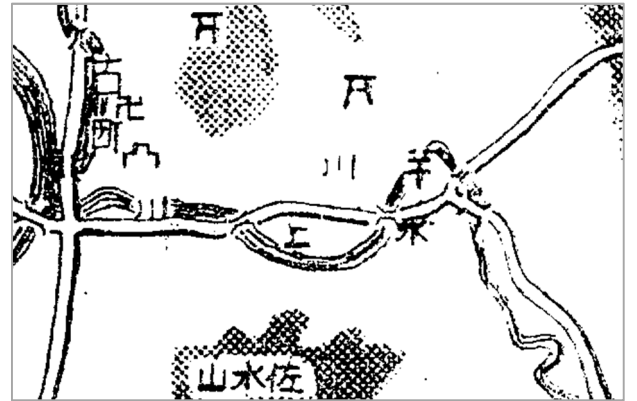
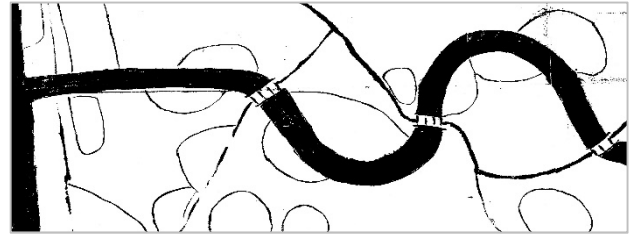
現在の4つの橋は、昭和40年代から50年代にかけて架け替えられたものである。写真1は、昭和53年に架け替えられる前の、板橋であった頃の芋川中の橋である。



現在の芋川中の橋

往時にさかのぼると、江戸時代に書かれた『白川風土記』では、芋川に袋田橋、向ヒ橋、高石橋の3つの橋の名が見ることができる。（白川風土記に向ヒ橋は「幅五間」とあるが、誤植と思われる）また『柏崎文庫』にも、白川風土記と同じ3つの橋が記されている。

当館で保管している古文書には、芋川地区のこれらの3つの橋を描いた絵図がある。作成年の手掛かりになるものは記載されていないが、江戸時代末から明治期のものと思われる。



古文書の芋川の絵図

この絵図で、右端の橋を通る道は、小田山新田集落に通じている。

また、昭和13年発行の『上条村勢要覧』収録の上条村要圖には、上記絵図に加えて、右下方向に延びる道と橋が、新たに描かれている。

上の経緯から、『白川風土記』、『柏崎文庫』及び古文書の絵図に記されている3つの橋は、どの橋が現在の橋に相当するかは定かでないが、小田山橋、芋川中の橋、芋川一の橋の3つであり、芋川三の橋は、後世になって架けられたものと推定される。

●参考にした本

『白川風土記』72ページ（224ヒロ）広瀬典 著

『柏崎文庫』16巻186ページ（080セキ）関甲子次郎 著

『上条村勢要覧—昭和13年5月末日現在』

（352シヨ13）上条村

古文書（芋川区有）57-110